

この停電！ 復旧はいつなんだ？

停電が長時間に
なったら…
備蓄している燃料や
バッテリーだけじゃ
業務停止は必然！

照明、外部通信、ネット、
パソコン、サーバーも沈黙…
その場しのぎの
非常用電源だけでは
**意味がないん
だよ！**



求められるのは？

》》 エコで強い！ 《常用電源》

通常時も、非常時も…
普段使いで 24 時間 給電！
あらゆる電力を常用化する

あらゆる電源リスクを回避する…

MSD-BOX

低炭素型 BCP 給電コントロールシステム

Multi Switching Device-BOX

【西日本豪雨災害】～ 医療現場に“灯り”を！～ MSD-BOX 被災地にて停電の12日間、連続給電を実証！

防災対応型のパワーストレージ【MSD-BOX】は、西日本豪雨災害の絶望的な電力環境下、被災地の医療現場に安定した「灯り」を、燃料不要で提供し、現在でも無故障で連日稼働を続けている。

7月6日夕刻、広島市安芸区一帯は集中豪雨による土砂災害により、全世帯が電力エネルギーを喪失、連日夜間は暗闇を余儀なくされた。

同地区にある公立病院は5年前よりMSD-BOXを導入、平静時から病棟の照明用電源として利用していたもので、停電直後から独立回路に切り替わり復電までの12日間途絶えることなく電源を担保した。

同施設に設置されたMSD-BOXは200W出力タイプのカスタムモデルで、日中は太陽光発電エネルギーを地産地消し、夜間はバッテリーに蓄えた電気を利用、不足分のみを商用電力や自家発電機で賄うという次世代型のハイブリット方式。複数の受電系統を持ち合わせることで、システム内に「電気のダム」を構築、極限まで給電を停めない特許技術を持つ。また、分散しているバックアップ電源を一元化することにより、停電時の切替や配線作業が不要となり、災害時に担当者が不在でも、ストレスなくそのままの状態でも24時間高品質な電力を利用することが出来る。



MSDの特許技術は既に、全国各地の放送局の中継所や灯台等の無人施設でも利用され、「停まることの許されない電源」をフルオートで供給し続けている。

用途：医療機関 ▶ 処置室・病室・通路エントランス等の照明、医事電子機器、通信機器など
文教施設 ▶ 教室・医務室・避難所などの照明、安否確認システム、通信機器など
企業団体 ▶ 最低限の照明、ネットワーク用の電源などの防災BCPに必要な電源等

※ すべて再生可能エネルギーとして常時利用が可能です。

防災用電源の常識を覆す！

詳細は製品ホームページにて <http://www.msd-box.com/>

「静音」&「無煙」&「メンテナンスフリー」
&「レイアウトフリー」&【燃料不要】の給電システム

SUPPLIER



Protective Device

製造元 **有限会社 平川製作所**
〒739-0321 広島市安芸市中野 2-40-18-36

販売元 **合同会社 PD ジャパン**
〒381-2221 長野市川中島町御厨 1387 番地 3
TEL：026-214-3929 / FAX：026-214-9024
E-mail：info@pd-japan.com



2018.10

カタログ記載内容 2018 年 10 月現在